

平成 22 年 5 月 11 日

各 位

会社名 株式会社ユビテック
 代表者名 代表取締役社長 荻野 司
 (コード 6662 大証 HC スタンダード)
 問合せ先 常務取締役管理本部長 明石 直人
 (TEL. 03-5487-5560)

平成 22 年 6 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 8 月 11 日の決算短信発表時に公表した平成 22 年 6 月期(平成 21 年 7 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日)の通期業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1 平成 22 年 6 月期通期業績予想数値の修正(平成 21 年 7 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日)

(1)連結

(単位:百万円, %)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	5,000	260	260	130	927 円 91 銭
今回修正予想(B)	4,000	260	280	130	927 円 91 銭
増減額(C=B-A)	△1,000	0	20	0	—
増減率(C/A) %	△20.0	0	7.7	0	—
(ご参考)前年通期実績 (平成 21 年 6 月期)	4,884	258	264	116	833 円 66 銭

(2)個別

(単位:百万円, %)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	4,200	260	340	176	1,261 円 96 銭
今回修正予想(B)	3,300	260	375	190	1,351 円 93 銭
増減額(C=B-A)	△900	0	35	14	—
増減率(C/A) %	△21.4	0	10.3	8.0	—
(ご参考)前年通期実績 (平成 21 年 6 月期)	4,002	230	236	117	839 円 24 銭

2 修正の理由

当期の経済情勢は、アジアや新興国に向けた輸出が緩やかに増加し、景気持ち直しの兆しも見られましたが、総じて景気の回復感に乏しい状況が続いております。当社グループの関連市場においても、一部では企業収益や設備投資の回復は見られるものの、完全な回復にはいたらず、引き続き厳しい事業環境となり、売上高については前回発表予想を下回る見通しとなりました。

電子機器事業においてはオリックス自動車(株)向けの車載機については着実に売上を獲得したものの、映像エンジン等の既存製品の受注が大きく減少していることおよび新規案件の失注によることが原因であります。モバイル・ユビキタス事業においては子会社及び主力事業であった携帯電話評価業務の受注が減少していることが今回の減収予想に影響しております。

営業利益につきましては、BXシリーズの将来のバージョンアップに備えた先行投資が費用増加要因となり、さらに携帯電話評価業務の受注減により減益への影響が大きくなっておりますが、開発済みのB E GREEN 製品の売上増加が着実に利益増加に貢献し、また前期に引き続き、グループ全体による徹底的なローコストオペレーション体制を維持すると共に事業効率化と賃借料の見直し、さらに製造コストの大幅な削減を実現した事により、前回予想どおりとしております。

経常利益につきましては助成金収入が当初予想より多く獲得出来ていることから前回発表を上回る見通しとしております。

今後も自己資金による新規技術開発投資、資本提携先であるオリックス株式会社およびパナソニック電気株式会社との関係強化に努め、顧客先企業の状況に影響を受けにくい自社製品と自社サービス開発及び販売を中心に事業拡大を図ってまいります。

[注]以上の業績予想は、現時点で入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算定しており、リスクや不確定要素の変動及び経済情勢等の変化により、実際の業績と本開示内容における見通しとは異なる可能性があります。

以 上